

第 33 回一宮市新型コロナウイルス感染症対策本部会議 議事録

令和 4 年 2 月 10 日（木）午前 11 時

<総合政策部長>

2月9日に発表された市内の陽性者数は126人（うち市外4人）であり、愛知県内では6,287人（うち名古屋市2,413人）であった。

1月以降の陽性者数の急激な増加は鈍化したようにも見えるが、他県では陽性者数の高止まりが続いていること等から、まだまだ予断を許さない状況である。

10万人あたりの新規陽性者数について、愛知県・一宮市ともに、国の規定するレベル3を大きく超える水準で推移している。入院患者数（単日）についても、愛知県全体ではレベル3を超える値が出ている。

このような中、国は愛知県を含む13都県に適用されている「まん延防止等重点措置」の期間を3週間延長する案を本日決定する。これを受けて、愛知県は本日午後5時30分から対策本部会議が開かれる予定。情報の詳細はまだ入っていないが、措置内容は現在のものと同様となる見込み。

<保健所長>

感染状況について、2月9日までの21日間で4,496名の新規陽性者数が報告されている。

1月27日からは検査の重点化を行い、初めの7日間では検査数191件に対して陽性者が50人（陽性率26.1%）、2月3日からの7日間では検査数107件に対して陽性者が8人（陽性率7.5%）となった。

2月9日時点の入院者数は60名であり、市内の医療機関はほぼ満床の状態である。宿泊療養者は14名。

陽性者のワクチン接種の状況については、未接種が52名、1回以上が507名、2回以上が502名、3回が22名であった（いずれも60歳以上）。

<危機管理課長>

「愛知県まん延防止等重点措置」の市民への周知として、尾張一宮駅の一宮七タビジョンデータの更新、および市の各部署における注意喚起の掲示物の切替えを実施する。

公共施設、イベントへの対応については、原則として現在の対応を延長することとし、その旨について本日午後には報道発表を行う。

<副市長>

市職員にも陽性者・濃厚接触者となる例が増加している。明日から3連休に入るが、より一層注意した行動の徹底を。

市職員や児童・生徒のPCR検査等に係る資料について、現状は教員がその一部を作成しているが、行政側で管理しているデータを活用する等、教育現場の負担を軽くするよう、工夫・検討されたい。

<市長>

保健所への応援職員の派遣による効果はどうか。

<保健所長>

他部署からの応援職員の協力もあり、先日から積極的疫学調査を本庁舎で実施している。保健所の電話回線も確保され、問合せに関する市民の不満も少なくなった。

<市長>

人手が不足することがあれば、改めて増員の検討を行う。

<市民健康部長>

ワクチン接種券については、2月7日分をもって、全体の約33%に発送が完了した。2月中には全体の約56%に、4月初めまでには7割以上に送付が終わる。

3回目の接種率については、2月9日時点で約10.7%に留まっている。

5歳～11歳の児童を対象とする接種については、医師会と連携して検討していく。

<市長>

郵便局が、昨年10月以降、郵便物の配送日数を順次繰り下げることが発表されている。ワクチン接種券の送達に影響が出ることが予想されるが、郵便局と何か調整はしているか。

<市民健康部>

今のところ検討していない。

<市長>

接種券の円滑な送達のため、本日中にも郵便局に働きかけることとする。

幹部職員においては、感染症予防や業務の能率化の観点から、可能な範囲で、市職員の休暇取得の促進に留意されたい。